

美しい 県土づくりNEWS

知恵と工夫

2004年

10

岩手県県土整備部手づくり広報誌

美しい県土づくりNEWS 3号

平成16年10月1日発行

編集 県土整備企画室

CONTENTS

Page	● 今月の人
2	小田島道路都市担当技監
3	● 県民参加・NPO等協働通信
7	● 知恵と工夫
8	● 県土整備 TOPICS
10	● インフォメーション
11	● みんなの声
12	● データウォッチング
	● 土木建築作品

交流・連携を支える交通ネットワーク

国道106号築川道路(盛岡市)

一般国道106号の盛岡市川目～盛岡市築川間は、築川沿いのカーブの連続する道路となっています。築川ダム建設に伴う国道の付け替えと、同時に、トンネルと橋の新設により線形不良の隘路区間を解消し、内陸部と沿岸部を結ぶ広域的な交流・連携、物流の効率化による産業の振興、救急医療の確立など安全で円滑な交通を確保していきます。



●今月の人

サマーレビュー

道路都市担当技監

小田島 正憲



県土整備部に異動となり早や6ヶ月が過ぎました。3年ぶりの県土整備部勤務となり、また皆様の御世話になりますので宜しくお願いいたします。

県では危機的な県財政を立て直し、これまで以上に質の高い行政サービスを提供できる行政経営体への変革を図るため、昨年10月、「行財政構造改革プログラム」や「40の政策」を打ち出したところでありまして、公共事業の縮減や組織の一元化など今まで経験したことのない厳しい環境での業務に取り組まなくてはなりません。さらに、三位一体の改革では国と地方との財源のやり取りが進められておりますが、3兆円の道筋が依然として見えない状況にあります。

このような中で、県土整備部では例年のとおり

来年度に向けた「サマーレビュー」を実施しました。今年は単なる個別事業の説明ではなく、公共事業の4つの分野ごとに重点化し、地方振興局、県土整備部の各課からのプレゼンテーションを行い採点し、評価する方法で行われましたが、発表する内容はどれも看板となる事業ばかりで優劣が付け難い状況でした。

これから事業に取り組む姿勢としては、「10分の1の予算で10倍の効果があがる」など、県民の理解を得て、ためになり、喜んでもらう事業が大切になると思います。例えば、ローカルスタンダードによる1.5車線道路の整備や、長いバイパスでなく、既存の道路を生かした局部的な改良により地域に合った事業などです。これは他の事業にも言えますが、自分が設計してきた場所に足を運び、使用し、観察してみて、利用者の状況、安全性、構造物の経年変化などを検証する能力を積み重ね鍛えもった「匠の技」が大きなウエートを占め、重要であると思います。

この厳しい状況を乗り越えるには、発想の転換や知恵と工夫により、最小の費用で最大の効果のあがる、県民のためになる事業を常に念頭において行動することが大切であると考えております。

10月の主な 行事予定

●大渡橋デザイン報告会

- 期日 10月1日(金)
- 時間 10時30分～12時
- 場所 釜石合同庁舎4階大会議室
- 担当 釜石地方振興局土木部

●2004一関地方住宅祭

- 期日 10月2日(土)
- 時間 9時30分～17時
- 場所 一関総合体育館ユードーム
- 担当 一関地方振興局土木部

●歴史街道を歩く2004 in 思案坂

- 期日 10月2日(土)
- 時間 10時30分～13時
- 場所 田野畑村思惟大橋コミュニティ公園
- 担当 岩泉土木事務所

●第7回雪谷川河川整備懇談会

- 期日 10月2日(土)
- 時間 13時30分～16時30分
- 場所 軽米町役場
- 担当 二戸地方振興局土木部

●福岡地区・歩行者安全対策検討会

- 期日 10月4日(月)
- 時間 13時30分～15時30分
- 場所 北いわて農協
- 担当 二戸地方振興局土木部

●遠野市水防協議会

- 期日 10月4日(月)
- 時間 13時～15時
- 場所 遠野浄化センター
- 担当 遠野地方振興局土木部

●2004 住まいフェスティバル

- 期日 10月9日(土)
- 時間 9時～16時
- 場所 花巻市民文化会館
- 担当 花巻地方振興局土木部

●後川ワークショップ

- 期日 10月10日(日)
- 時間 9時～16時
- 場所 未定
- 担当 花巻地方振興局土木部

●「地方の実情にあった公共事業の推進」事例発表会 in いわて

- 期日 10月14日(木)
- 時間 9時30分～16時20分
- 場所 県民会館
- 担当 建設技術振興課

●第3回いわて都市政策研究会

- 期日 10月14日(木)
- 時間 13時～16時30分
- 場所 花巻市
- 担当 都市計画課

●花巻地域まちづくり研修会

- 期日 10月14日(木)
- 時間 13時30分～16時
- 場所 花巻合同庁舎
- 担当 花巻地方振興局土木部

●岩手県汚水適正処理推進会議幹事会

- 期日 10月15日(金)
- 時間 13時～16時
- 場所 未定
- 担当 下水環境課

●下水道ふれあい展

- 期日 10月16日(土)～17日(日)
- 時間 9時～16時
- 場所 両磐地域職業訓練センター
- 担当 下水環境課

●御所湖周辺秋の統一清掃の日

- 期日 10月17日(日)
- 時間 6時30分～
- 場所 繫大橋・シオン像前に集合
- 担当 盛岡地方振興局土木部

●建設業協会青年部交流会

- 期日 10月22日(金)
- 時間 15時50分～18時30分
- 場所 プラザイン水沢
- 担当 水沢地方振興局土木部

●二級河川雪谷川災害復旧事業竣工式

- 期日 10月28日(木)
- 時間 9時30分～14時
- 場所 軽米町
- 担当 河川課

●県立都市公園の管理についての意見を聞く会

- 期日 11月12日(金)
- 時間 13時30分～15時
- 場所 公会堂23号会議室
- 担当 都市計画課

県民参加 NPO等協働 通信

このコーナーでは、県民参加の活動事例や NPO などとの協働事例を紹介します。



紫波町日詰地区 くらしのみちゾーン社会実験

- 実験場所 紫波町日詰商店街 (県道紫波川井線 500m)
- 実験期間 9月3日(金)~12日(日)

安全、快適で美しい道路の整備により商店街の活性化を図るとともに、周辺地域住民にとっても安全で、歴史や情緒を感じるやさしく住みよい地域作りを目指して、このたび紫波町日詰商店街を会場に「くらしのみちゾーン社会実験」が開催されました。

今回の実験は、歩車分離とバリアフリー化のほか、流入規制(時間、車種別)や速度規制、側溝の一新による歩行者の安全確保など。

今後は、アンケート調査の結果や、前年度の一方通行案と今年度の対面通行案の社会実験結果をふまえ、年内に最終的な整備案を決定します。

【取り組み地域の課題】

- 当地区は車社会中心に道路整備を余儀なくされた結果、明確に区分された歩道がなく、歩行者は路側帯や側溝か車道を歩かなくてはならない。
- 安全でゆとりある歩道がないため、買い物客や通行人が、ゆっくり安心して歩くことが出来ず、買い物を楽しむ雰囲気をかもし出すことが困難。

【事業概要】

- 車道
 - ・ 車道幅 4.5m~5.5m 対面通行
 - ・ 大型車両進入禁止、バス一方通行
 - ・ ハンプ(段差)設置、停車・追避ゾーン
- 歩道 1.5m~2.25m 確保、2cm 段差、カラー塗装、植栽の配置、配電盤配置、
- 全体 配電盤配置、実験体験ミニバス運行、ユニバーサルデザイン推進、秋祭り開催実験、交通状況調査、モニター調査、住民意向調査



ハンプ写真



停車・追避ゾーン写真



ユニバーサルデザイン検証



歩道着色

インタビュー

日詰商店街会長
野村 晋さん



『住民と行政と連携』

—くらしのみちゾーン社会実験を通じて—

中心市街地活性化法の施行を契機に、12年度に中心市街地の活性化について勉強会を開催し、14年度に日詰商店街活性化実現プラン「ひまわり太陽計画」を作成しました。また、15年12月には、全国都市再生モデル調査事業で道路の実証実験とにぎわい創出のための商店街のモール化実験を行ってきました。

私は、道路だけが整備されても商店街の賑わい創出には結び付かないと思っています。

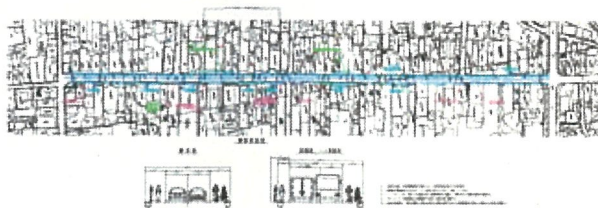
今回の社会実験は、9月3日~5日の赤石神社まつり期間を含め開催しましたが、これは、道路のあり方について、「お祭りを開催できるような道であってほしい」、「露天商もこまらないようなスペースを確保したい」といった意見もあったからです。

今後は、モニター・住民アンケートを行った上で、調査結果をまとめていきますが、今回実験した交通上の安全確保や速度抑制の面、あるいは歩車道を分離し、一方通行にしたことによる利用者のニーズについて正確に把握していきたいと思っています。その上で、地元の意向を町や県に対し提案していきたいと思します。

我々の目的は、ハード整備と同時に商店街の活性化、いわゆる賑わい対策を図って行くことです。いかに時代に合わせて、中心市街地を活性化させていくか。これは、非常に難しいテーマですが、お金をかけるのではなく、地域の身の丈にあったまちづくりのスタートにしていきたいと思っています。道路を改善し、買い物客や歩行者の不便を解消し、日詰商店街をにぎわいのある町にしていくには、我々の才覚しかないと考えています。



平成18年度 日詰商店街「くらしのみち」社会実験計画書撮影





土砂災害防止対策検討

住民懇談会

土砂災害対策は、施設整備（ハード対策）を中心として進めています。莫大な経費と時間を要しています。

こうした状況で、今後より一層、土砂災害対策を効果的に推進するためには、厳しい財政状況にあることも踏まえ、既存の施設整備に加えて住居の移転を促進するなど、ソフト対策を含めた新たな方策に取り組む必要があります。方策の導入にあたっては、危険箇所の状況や住民の意向などにより、様々なケースが考えられます。

このため、今年度、NPOとの協働により地域住民の意向を十分調査（※1）するとともに、第三者や専門家の意見（※2）等を踏まえ、施策を検討しているところであります。

※1 住民間取り調査（がけ崩れの危険のある住宅に調査員が直接アンケートを行う）

※2 土砂災害危険防止施策検討委員会を発足

■ 土砂災害危険防止施策検討委員会の予定

- 第1回 5月27日 岩手県公会堂会議室
- 第2回 8月2日 釜石地方振興局大会議室
- 第3回 10月29日 岩手県民会館会議室
- 第4回 11月予定（日時・場所：未定）

8月の釜石での現地検討会の様子



イメージ図

【移転前】



【移転後】



■ 土砂災害防止対策検討住民懇談会（大船渡）

9月16日（木）に、県と**いわてNPOセンター**主催の土砂災害防止対策検討住民懇談会が大船渡地区合同庁舎大会議室で開催されました。当日は一般市民約14名の方に出席していただきました。

はじめに、岩手県が行っている土砂災害防止対策について行政説明を行いました。財政状況が厳しいなか、全ての危険箇所を整備するには時間と経費が掛かること。住居移転などの対策を併せて進めていく必要があることを説明しました。

続いて4班に分かれて①県の施策や県に望む事、②自分たちで出来る事、③県と一緒に出来る事の3点について話し合いが行われました。

- ① 県の施策や県に望む事では、危険箇所の情報提供や移転補償費の増額などの意見がありました。
- ② 自分たちで出来る事では、自主防災組織の結成、自主パトロールの実施などが提案されました。
- ③ 県と一緒に出来る事では、協働での植林事業、移転促進組織の共同設立など多彩な意見がだされました。

今回の懇談会はワークショップ方式で行ったので、参加者一人一人が忌憚なく意見交換を行なうことができました。

懇談会で出された意見は後日いわてNPOセンターで取りまとめられ県に報告されることとなっております。

※ 大船渡地区のほか、9月13日（月）に釜石市、9月14日（火）に宮古市で住民懇談会を開催しました。

ワークショップでの検討の様子（大船渡）





茅葺き替え

茅葺き替え作業が始まりました。

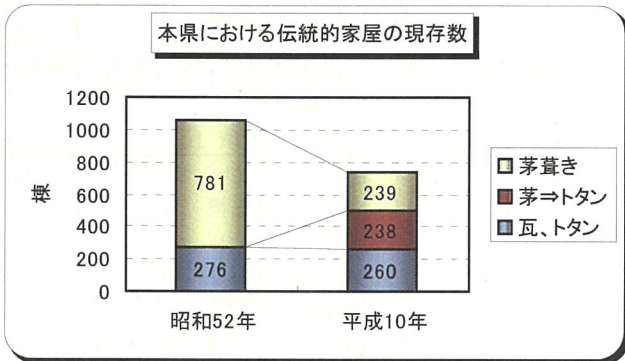
今回の茅葺き替え作業は、茅葺き替えをするだけでなく、全県的に取り組んでいる「岩手茅葺き技術の伝承文化の継承」として、「**NPO 法人岩手茅葺き委員会**」に委託して行うものです。また、御所湖南部曲り家は、茅葺き職人養成の現場実習場として、作業を行う予定です。

現在県内でも茅葺き作業を見る機会もなくなりつつあります。近くにお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

なお、作業現場では、立入り禁止区域の箇所もございますので、現場作業員の指示に従うようにお願いします。(土日、祝日は作業を行わない日もあります。)

1. 茅葺き屋根の概況

県内の茅葺き家屋は、ふき替えにかかる茅の減少、茅職人の高齢化、減少に伴い20年ほどで3分の1以下に減っており、77年には781件あったかやぶき屋根は、239件となっています。現在、茅の生産、職人養成が急務となっています。



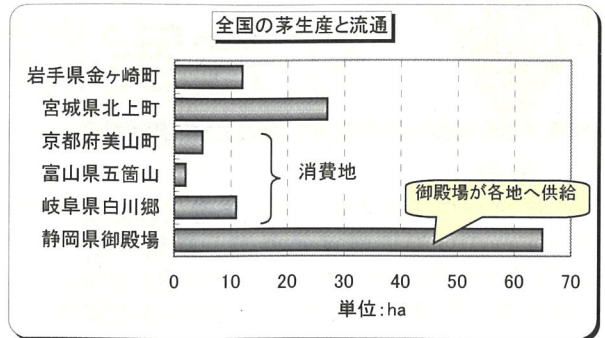
昨年度の曲り家での説明会の様子



3. その他

茅葺き替え作業終了後、「御所湖・町場地区を活用しよう会」により、「町場のなつかし写真展&茅葺き市」を開催する予定です。

また、NHK「マスタ GOO!」(毎週月曜～金曜 17:15～)で、茅葺き研修を実施している様子等が放送される予定とのことです。(放送日未定)



2 御所湖広域公園南部曲り家の概況

御所湖広域公園・さくら園の南部曲り家は、御所ダム建設に伴い水没予定地となった、繋地区にあった曲り家を岩手県が寄付を受け、昭和49年に現在の場所へ移築されたものです。

昨年度、曲り家の茅老朽化に伴い単に補修するのではなく、地域の活性化や公園のPRを目的として、「**NPO 法人岩手茅葺き委員会**」に委託し、曲り茅の一部補修、また地元住民、関係者を集め「曲り家サミット」を開催し、茅葺き屋根の維持管理について意見を交換しました。

今年度は、政策形成プロジェクト「茅文化保存システム支援事業」(農政部)が採択となり、全県的に茅の生産から屋根の葺き替えまでの一連の取組みを行うことによって、本県の茅文化保存システムの構築を目指しています。

8月中旬に、茅葺き委員会に委託し、南部曲り家は、「岩手茅葺き職人養成の場」として、技術研修の現場を提供し、これを広報して、茅文化保存に関する地元住民の意識昂揚をはかり、また、曲り家及び御所湖広域公園全体の利活用と維持管理の促進を行うものです。

9月下旬より着手され、11月中旬まで葺き替え作業を行う予定です。現在、応募により研修希望者6人の内3人が、実際に職人のもとで、研修を受けています。また、茅葺き替え作業中には、地元周辺にPRを行い、見学会を行うことにしています。





盛岡シネマタウン 社会実験

1 経緯

昨年3月に「新エネルギーの導入の促進及び省エネルギーの促進に関する条例」が施行され、県とNPO法人いわてNPOフォーラム21が協働して、「自転車から発想するまちづくり～人と環境にやさしいまちをめざして～」を目標とするさまざまなソフト施策を展開してきました。

今年度は、この施策の延長として、10月に盛岡市大通り・映画館通りを会場に国土交通省の社会実験を実施します。

2 実験の名称・目的

盛岡シネマタウン社会実験

～映画館通りと連動した大通りのオープンカフェ社会実験による映画文化の再認識と中心市街地の魅力アップ～

- 道路空間に設けられているパーキングチケット空間をオープンカフェや自転車駐輪場等に活用し、賑わいの空間を創出。
- 「みちのく国際ミステリー映画祭」と連携しながら、映画文化をはじめとする文化情報発信の街をめざす。
- 自転車の走行・駐輪環境の向上、パーク&サイクルライドの促進等を図り、マイカーからバスや自転車、歩行への転換をめざす。

3 実験概要

- 実験場所：盛岡市大通り・映画館通り
- 実験期間：10月
- 実施主体：盛岡シネマタウン社会実験実行委員会
(構成団体：NPO法人いわてNPOフォーラム21、盛岡大通り商店街協同組合、国土交通省岩手河川国道事務所、県、市ほか)

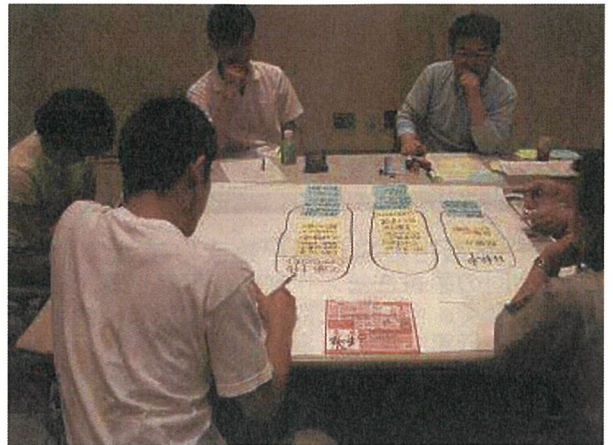
■ 実験項目

- 大通りからの一般車両の排除と小型低床バスの運行
- パーキングチケット空間のオープンカフェや駐輪スペースとしての活用
- 大通りと映画館通りの交差点に位置する民間駐車場の借上げと広場としての活用
- パーク&バイスクルライドの実施

※ 今回の社会実験の結果については、来月号以降で紹介いたします。

※ 盛岡シネマタウン社会実験実行委員会のホームページはこちら

<http://www.iwate-npo.net/inf21/cinema/cinema.htm>



◆ 『盛岡シネマタウン社会実験』セミナー

盛岡シネマタウン社会実験実行委員会では、社会実験に関連して9月から12月までの間、セミナー(計5回)を開催しています。

盛岡における中心市街地活性化のテーマの一つである「歩いて楽しむ街」に関するセミナー(勉強会)を通じて、この『社会実験』についての共通の理解を得ることを目的としています。また、その成果を来年2月に開催するフォーラムや今後のまちづくりに反映させていく予定です。

	開催日	テーマ	会場
第1回	9月11日 10～12時	コンパクトシティを実現するために (久木田 禎一 氏)	大通り リオ
第2回	9月18日 10～12時	事例にみるトランジットモール (平井 公康 氏)	〃
第3回	9月25日 10～12時	マイカーから公共交通機関への転換 (ワークショップ) A 中心市街地における交通のあり方 B エンバーサルデザインの実現 C 魅力ある業種構成 D 賑わいの演出	〃
第4回	11月28日 10～12時	社会実験の結果と評価	〃
第5回	12月4日 10～12時	社会実験から本格実施に向けて	〃



再利用でコスト縮減！

盛岡・土木部におけるデリネーターの再利用の取り組み

1 はじめに

県土整備部では、厳しい財政環境下においても、県民が安心して暮らせる地域づくりのため、これまで蓄積した社会資本ストックを良好な状態で維持するための取組みや建設コストの縮減などに取り組んでいます。特に、コスト縮減については、従来の「工事コストの縮減」のほか、「時間的コストの低減」や「ライフサイクルコストの低減」などの施策を含む「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画」に基づき、総合的なコスト低減に努めています。

今回の「知恵と工夫」のコーナーでは、盛岡地方振興局土木部で取り組んでいる、デリネーター（視線誘導標）の再利用によるコスト縮減の取り組みについて紹介します。

2 再利用の取り組みの概要

道路と歩道の上に視線誘導標といわれるデリネーターがありますが、車の安全走行を確保するため壊れたものについては、新しいものに交換する必要があります。

そこで今回、新たな試みとしまして、今まで壊れて処分していたデリネーターのうち、使える部分を切断して再利用してみました。

① デリネーター補修

折損、変形によりデリネーター上部の引き出し可能な箇所の廃物を再利用し補修しました。

● 施工箇所 岩手西根線 鴨沢地区から浮島地区
岩手平館線 愛宕下地区から横田地区

● 施工本数 40本

■ 着手前



■ 着手後



■ 加工接合部状況



② 伐採木利用による設置

90センチメートルの伐採木を利用し、デリネーター上部の支柱を再設置し、処分費用や材料費を縮減しました。

● 施工箇所 大志田停車場線 外山地区

● 施工本数 50本

■ 着手前



■ 着手後



■ 設置状況

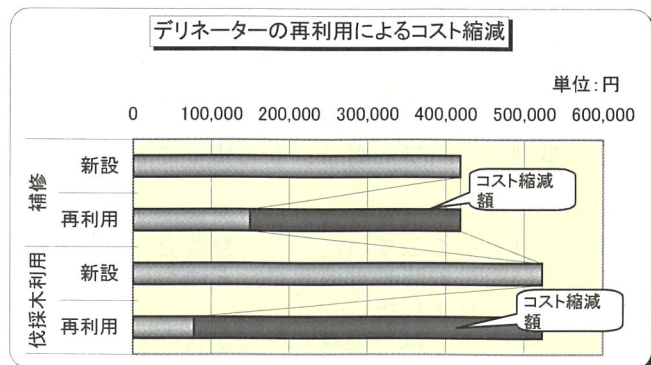


4 コスト縮減の結果

右の図のように、補修の場合（施工箇所40本）、新設しないで再利用しますと約65%コスト縮減が図られました。

また、伐採木利用の場合（施工箇所50本）では、約85%の縮減幅になりました。捨てればゴミですが、使えば資源です！

（盛岡地方振興局土木部道路環境課）





住まいとエネルギーのフェスタ 2004、開催
9月5日(日)

「これからの快適な暮らしを、環境首都いわてから」をテーマに、9月3日(金)から5日(日)まで、盛岡市アイスアリーナを会場に「住まいとエネルギーのフェスタ2004」が開催されました。

当日は、県テーマゾーンやステージイベントなど多彩な催しが行われましたが、特に好評を博したのは、体験型のコーナーを数多く配した住宅やクリーンエネルギー関連の各県テーマゾーンのほか、餅まきや、有名お笑い芸人によるステージイベントでした。期間中、天候に恵まれたこともあり、来場者数は昨年度を上回る約1万7千人を記録し、盛況のうちに終了しました。



御所湖広域公園町場地区基本計画策定懇談会を開催！
9月3日(金)

9月3日(金)、つなぎ地区活動センターにおいて御所湖広域公園町場地区基本計画策定懇談会が開催されました。これは、前年度策定した基本構想2案を基に、今年度計4回の懇談会を通じて基本計画1案にまとめていくもの。

委員には、地元団体や、企業・住民などから、約20名が参加。今回は、今までの経緯説明、指定管理者制度の説明を行い、それぞれの紹介、感想等が話し合われました。

今後は、さらに具体的に、地域として実現可能な1つの形、施設・運営も含めて懇談会を進めていきます。



軽米町笹目地区道づくり「岩手スタンダードモデル事業」住民懇談会を開催
9月1日(水)

9月1日(水)19時より軽米町笹目地区下野場営農研修館において、ローカルスタンダードに基づく道路整備についての第1回住民懇談会を開催しました。当日は、21名の方が出席し、地域の実情に応じた岩手の道づくり(1.5車線の道路整備)についての考え方、事例等をパワーポイントを使って説明しました。

7月に6名の地区長が現場調査をし、問題箇所について事前に意見集約をしていたため、懇談会では冬期間のすれ違いや除雪時の雪の置場などについての意見が活発に出されました。

懇談会で出された意見は、地域の区長が持ち帰り広く住民の意見を聞いた上で、第一回住民懇談会の意見調整をし、計画案を作成する予定です。



「地域の実情に応じた岩手の道づくり」住民懇談会を開催
9月8日(水)

9月8日(水)に、陸前高田市矢作町三の戸地区でローカルスタンダードに基づく道路整備についての住民懇談会を開催しました。日中の開催にも関わらず委員をお願いした地元の区長さんら16名の方が参加。

ローカルスタンダードによる1.5車線の道路整備について説明を行い、その後実際に整備予定区間1.4kmを歩いて改善要望箇所を点検しました。

今回の懇談会では、特に2車線での整備にこだわらず地域の実情に応じた道づくりについて、区長が中心に話をまとめるとの心強いお言葉がありました。地域の方々の道路整備への熱意が感じられる懇談会でした。



普代小学校で出前事業を開催！

8月31日(火)

8月31日(火)、普代村立普代小学校において5年生児童20名を対象に出前事業を開催しました。

当日は、久慈地方振興局土木部の職員が講師をつとめ、道路工事の例を挙げながら、道路の役割や仕事の内容について説明しました。

子供たちからは、「アスファルトの原料が石油であることを初めて知った」、「普段使っている道路を見えないところで管理している人がいることが分かった」等の感想がありました。

子供たちが真剣に話を聞いている姿や途中のトークで織り交ぜた小ネタで爆笑する姿が印象的で、非常に勉強になる経験となりました。



大槌北小学校で川の観察会を開催！

9月22日(水)

9月22日(水)、大槌川において大槌町立大槌北小学校4年(2クラス43名)を対象に川の観察会を開催しました。これは、遊びを通して川の大切さを学び、「環境意識の高揚」と「総合学習」の支援を目的として、釜石地方振興局土木部が開催したものです。

子供たちからは、「水生生物調査は初めてで、特にカジカを捕まえられうれしかった」、「川にゴミを捨てないようにする」、「家庭排水を少なくするよう気をつける」等の感想がありました。

児童の中には、川で遊んだことがない子供もいましたが、この学習を通して水質(川)の大切さが理解されたほか、学校の近くを流れる身近な川で、今まで気づかなかったことを発見する機会になりました。



岩手県被災宅地危険度判定士養成講習会を開催

9月17日(金)

9月17日(金)、盛岡地区合同庁舎で岩手県被災宅地危険度判定士養成講習会が開催されました。

被災宅地危険度判定制度は、市町村において災害対策本部が設置されるような大規模な地震又は大雨等のため、宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合に、被災宅地危険度判定士を活用して被害の発生状況を迅速かつ的確に把握し、危険度判定をすることによって、二次災害を軽減、防止し住民の安全を図ることを目的とするもの。

岩手県の被災宅地危険度判定士は、平成16年度登録の89名を含み198名となり、今後、被災地において、地元市町村長又は、都道府県の要請により被災宅地危険度判定を行って行きます。



スカイフェスタ 2004、盛大に開催！

9月23日(木)

今年の「スカイフェスタ 2004」は、9月23日(木)(9時00分～16時00分)に開催されました。会場の花巻空港には、好天にも恵まれ12,251名の大勢の方が来場しました。

今年は、開港40周年に併せ、様々なイベントが開催されました。

子供と小型機との綱引きや2機のディーブブルーズによるアクロバット編隊飛行のほか、花巻農業高校の生徒による鹿(しし)踊りや地元保育園児による演舞が披露され、会場を大いに盛り上げました。

Information

内容等につきましては、
各担当にご確認願います。

募集等 のお知らせ

●まちなみ清爽隊(簡易除却ボランティア)の募集

電柱や街灯に貼り出され、まちの美観を損ねている違反はり紙をなくすため、ボランティアで違反はり紙を取り除いてくださる皆さんを募集します。

- 募集期間 ~10月1日(金)
- 除却推進団体の認定
地方振興局長が町内会やボランティア団体等を除却推進団体として認定
- 認定要件
満20歳以上の者が2名以上在籍していること
- 認定の申請先 主な活動地域を管轄する地方振興局土木部
- 認定期間
認定の日~17年3月31日
- 担当 都市計画課
(TEL019-629-5892)

●御所湖広域公園つなぎスイミングセンター利活用計画ワークショップ参加者募集

つなぎスイミングセンターの今後の利活用について様々な方から意見をいただくためのワークショップを開催します。参加希望者は、次により申込願います。

- 開催期間
1回目 10月下旬
2回目~ 11月~1月下旬
※合計4回開催予定
- ワークショップ参加条件
4回または複数回参加可能な方
ワークショップ終了後も何らかの形で関わりいただける方
御所湖に関心のある方
- 募集期限 10月20日(水)
- 応募人数 若干名
- 申込先
盛岡地方振興局土木部道路都市課 TEL019-629-6643

●第3回県営住宅等入居者の募集(定期募集)

県営住宅75戸と県営特定公共賃貸住宅2戸について、入居者を募集します。

- 募集期間
10月18日(月)~22日(金)
- 募集地区
① 県営住宅 盛岡、花巻、北上、水沢、一関、大船渡、釜石、宮古
② 特定公共賃貸住宅 花巻
- 問合せ
①盛岡地区 (財)岩手県建築住宅センターTEL019-623-4414
②その他 各振興局土木部

イベント等 のお知らせ

●東北自動車道社会実験の実施

盛岡都市圏の渋滞緩和・環境改善のため東北自動車道の料金を割引します。現在、盛岡都市圏には20箇所もの渋滞ポイントがあります。一方、東北自動車道は交通量が少なく十分に活用されていません。渋滞の激しい一般国道4号などに平行して走る東北自動車道の料金を割引し、学識経験者や関係機関などでその結果を検証します。

- 実施期間
前半:10/18(月)~11/14(日)
後半:11/15(月)~12/17(金)
- 割引対象区間
盛岡南IC~滝沢IC
(3ICの相互間の交通に限定)
- 割引率 最初の1ヶ月3割引
次の1ヶ月5割引
- 対象車 全ての車種
- 担当 道路建設課

●盛岡シネマタウン社会実験(トランジットモール&オープンカフェ)

盛岡の大通り等の中心市街地において、「歩いて楽しむ街」としての街の魅力を向上させるため、みちのく国際ミステリー映画祭等の市民イベントと合わせて、大通りのトランジットモール化(一般車両の進入禁止と小型ノンステップバスの運行)とオープンカフェを実施し、その効果や課題等について検証を行います。

- 実施期間
10月2日(土)~10日(日)
10月23日(土)~31日(日)
- 内容
① 大通りにおける一般車両の進入禁止(午前11時~午後6時)
② 小型低床循環バスの運行
午前11時から午後6時まで
20分間隔で運行
運賃:大人/100円、子供/50円
③ パーキングチケット用駐車スペース(38台分)の活用
自転車置き場、オープンカフェ・ワゴンセール等として活用
出店等内容:飲食関係、物販関係、イベント等
- 場所 盛岡市大通・菜園地区
- 担当 都市計画課

●携帯電話による河川情報

携帯電話で県内の雨量、川の水位、ダムの水位などの河川情報を見ることができます。携帯電話版岩手県ホームページの河川情報からご覧ください。アドレスは、
<http://www.pref.iwate.jp/info/list/l.html>

気象警報などが、みなさまの携帯電話にダイレクトでメール配信される、「いわてモバイルメール」も、あわせてご利用ください。

詳しくは、河川課
(TEL019-629-5903)まで

みんなの声

1 opinion/idea/proposal/recommendation

盛岡は自然に恵まれて、歴史を感じる建物が多し。したがって、築川ダムは中止して自然環境を残してほしい。また、盛岡市内に新たな道路の拡幅や新設によって歴史的な建物を壊さないようにしてほしい。古いものや自然を活かすようにしてほしい。

都市開発を進める場合は、旧市街地には原則として手をつけず、新しい土地に進めるべきである。いずれ、道路計画と言うよりバスや鉄道を利用するなど車中心から歩行者・自転車・公共交通に変えるべき。

2004/03/01/盛岡市/電子メール

築川ダムは、築川沿川の住民の生命と財産を洪水被害から守るために必要であると考えています。建設にあたっては、ダム事業が周辺の自然環境に及ぼす負荷をできるだけ低減するため、築川ダム環境専門委員会等から意見・提言をいただきながら、移植などの保全処置等最大限の対策を講じながら慎重に事業を進めていくこととしています。

次に、まちづくりについてですが、県では、現在、都市づくりを考える上での基本的な方向性や都市の将来像を示すため、岩手県都市計画マスタープランの策定を行っており、盛岡のまちづくりについては、次のとおり進めたいと考えています。

具体的には、既存市街地にあつては、歴史的・文化的資産を極力大切にしながらまちづくりや道づくりを進め、新たな市街地拡大の需要に対しては、盛岡駅周辺や盛岡南地区といった新しい市街地を整備し、現都心との役割を分担しつつ有機的につなげる必要があると考えています。

なお、都市内道路については、骨格となる道路の整備を進めるべきですが、短中期的には時差出勤や公共交通機関の利用促進などのソフト施策と連携し、渋滞対策や施設の維持管理に集中・重点的に取り組む必要があると考えています。

また、これまでのような車中心の生活から、バスや鉄道などの公共交通機関の促進、自転車や歩いて暮らすといった、コンパクトで魅力あるまちに変えていくことが重要であると考えています。

今後、都市づくりを進めるにあつては、住民・市町村・県が連携、協働し推進することとしていますので、これからも、率直な御意見、御提言をお寄せください。

参考：岩手県都市計画マスタープラン

(<http://www.pref.iwate.jp/~hp060401/>)

県では、フリーダイヤル、ファクシミリ、手紙、はがき、電話、インターネットなどを通じて、皆さんの意見・提言をお聴きしています。このコーナーでは、平成16年1月から3月までに寄せられた県政提言等の内容について、主なものを紹介いたします。

2 opinion/idea/proposal/recommendation

胆沢町の石沢ダムの近くから一関の真湯、祭時にぬける道路は、できた後は、胆沢町分は胆沢町に、一関市分は一関市の管理になるという。これは、奥羽山系の中をとっており、ブナ林がだめになってしまっている。やめてはどうか。

2004/01/28/一関市/フリーダイヤル

ご提言の道路は、一関市道と胆沢町道で、現在、県が一関市、胆沢町に代わって道路整備を進めていますが、胆沢ダム建設事業に伴い水没する胆沢町の一部区間については、国により付替の道路整備が進められる予定です。

この道路は栗駒地域における3県（岩手、宮城、秋田）の広域共同プロジェクトの中で、一関地域と胆沢地域の観光資源を結ぶとともに、栗駒国定公園の周遊ルートとなる道路と位置付け、将来広域的な観光拠点や新たな交流ゾーンを形成する重要な路線と考え、整備を進めているものです。

整備にあつては、コスト縮減を図るとともに、ブナ林をはじめとする周辺の環境にも配慮しながら計画し整備を進めていきます。

3 opinion/idea/proposal/recommendation

ヤミ金融など違法な貸金業者のチラシや吊り看板などの広告物を規制すること。

2004/02/17/全県/知事要望

県では、美観や自然の風致の維持及び通行人等への危害防止のため、屋外広告物法及び屋外広告物条例に基づき屋外広告物の禁止、制限を実施しています。

いわゆるヤミ金融等は、屋外広告物条例により広告を禁止している物件にはり紙をするなどしていることから、各地方振興局職員による違反広告物の見回りと除却を行っています。

平成13年度は延べ203回見回りをし、ヤミ金融を含めた311枚除却しており、平成14年度は延べ214回、1,922枚除却しています。

また、違反広告板等については、平成15年度、全県の違反広告物の実態調査を行っており、この調査結果に基づき、今後とも適切な対策を講じていきたいと考えています。

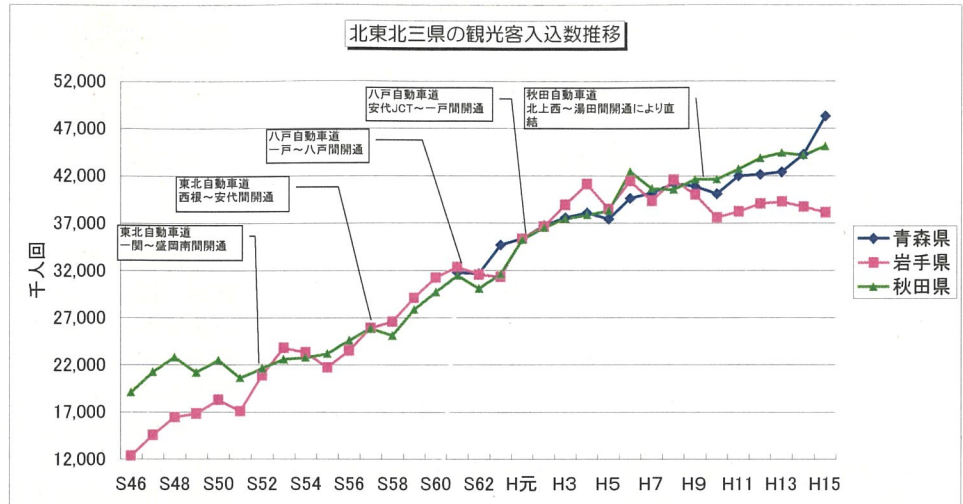
データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今回は、道路整備と観光客の入込み数について、みてみましょう。

右の表をご覧ください。
昭和46年頃の岩手県の観光客の入込数は、12,349千人回で、秋田県の入込数を下回っていましたが、昭和52年の東北自動車道一関～盛岡南間の開通を契機に、増加しております。

また、高速道路の整備の他にも東北・上越新幹線の開業(S57)や花巻空港の2,000m滑走路の供用開始(S58)など、高速交通網の整備とともに、北東北三県の観光客の入込数が増加していることが読み取れます。

この他、東北縦貫自動車道が整備されたことにより、鮮度が命の農作物をいち早く首都圏の市場へ出荷することが可能となり、日本一の品質・出荷量を誇る産地(例えば、胆沢町のピーマンや西根町のほうれんそう)になるなど、地域経済に大きく貢献しています。



出所:各県統計資料
注:青森県の観光客入込数は、昭和61年度からのデータ。それ以前の統計データは、なし。

土木建築作品

県民に親しまれている文化的価値の高い土木建築作品を紹介するコーナー

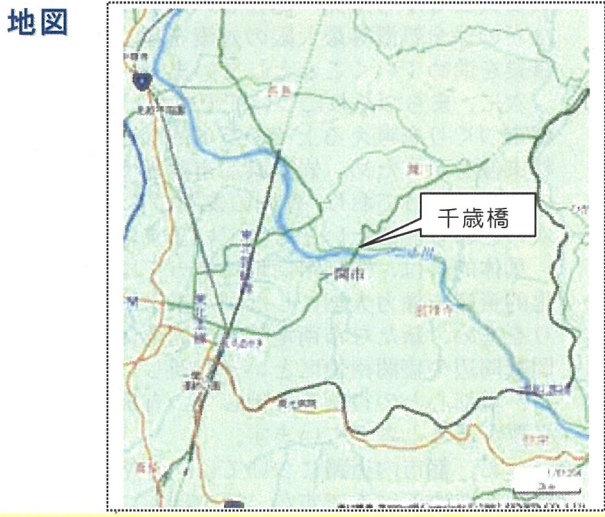
Vol.3 千歳橋
CHITOSE-BASHI

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋(盛岡環状線)から、宮城県に程近い北上川橋(花巻藤沢線)までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介します。

【千歳橋】

狐禅寺狭窄部の入口にあり、明治32年(1899)舟橋で架橋されました。兩岸部は木橋で中央部に舟を13艘つなぎ止め、その上に橋脚、さらに橋板を敷いていました。増水時には舟橋だけを川に浮かばせる仕組みです。その後流失と補修が相次ぎ、特に、戦後22年のカサリン台風、翌年のアイオン台風、24年のキティ台風により三たび流失したことから、昭和26年全国で2つ目となる潜り橋(潜水式橋梁)の架橋となりました(増水により年間20~30日間通行止めとなる)。現橋は昭和53年に完成し、やっとのこと増水による通行止めから解放されることとなりました。

形式:ワーレントラス
橋長(m)×巾員(全巾):434.10×6.00
架設年度:昭和53年
路線名:主要地方道一関大東線



「いわての土木遺産100選」((財)岩手県土木技術振興協会発行)